

むくらむくら

令和8年6月吉日発行

第34号

社会福祉法人桜友会

児童心理療育施設 桜学館

〒501-3932 岐阜県関市稲口 777 番地 1

Tel 0575-24-0050 Fax 0575-24-0051

ごあいさつ

桜学館施設長 池戸 裕子



この4月から「桜学館」の施設長となりました池戸裕子と申します。私自身は、開設した当初から桜学館で生活指導員として、子どもたちの生活支援を中心に担ってきました。この4月からは立場が変わり、戸惑うことも多い中でようやく2ヶ月が過ぎようとしています。

立場の変化、役割の変化、もちろん責任の重さの変化・・・という「変化」ばかりの日々の中で、少し弱気になりかけた時もありました。そんな中でも桜学館で生活をしている子どもたちは変わらないままでした。これまでと同じように元気で、明るく、そして時々ケンカをしたり拗ねたり・・・。変わらない日常が繰り返されていました。「変わらないこと」の安心感を私は子どもたちからもらい、そして少しずつ色々な「変化」を受け入れつつあります。(それでも「施設長～!」と呼ばれることはなかなか慣れません・・・)。

思えば、ここまでの桜学館での日々は出会った子どもたち、そしてそのご家族の方々、一緒に働いてきた職員のみんに支えられ、続けていくことができました。それを思い出しながら、ここからは施設長として、また新たな立場と視点で桜学館を必要とする子どもたち・ご家族のために桜学館を発展させていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

私たち職員は昨年度同様、4つの理念を掲げ、子どもたちにとって心から委ねられる存在になることを目指し頑張っています。ご家族の皆さんをはじめ、多くの方々に支えられながら子どもたちと共に成長していけるよう努力してまいりますので、今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。

【桜学館で大切にしていける4つの理念】

1. 子ども一人ひとりにしっかりと向き合い、一人ひとりの自己実現に向かって共に支援を行います。
2. 子ども一人ひとりの成長・発達を願い、子ども一人ひとりに相応しい環境設定を行います。
3. 子ども一人ひとりの命を大切に、子ども一人ひとりの家庭復帰を目指した地域支援を行います。
4. 子ども一人ひとりの思いに耳を傾け、子ども一人ひとりを主体者として支援を行います。

【各ユニットより】

風ユニット

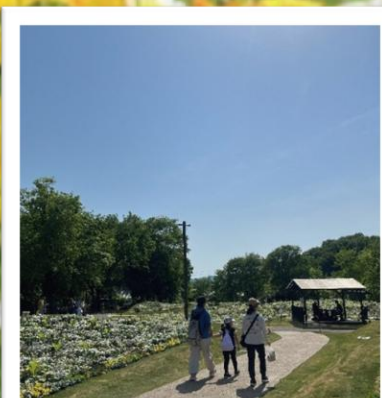
今年度は、新しい子どもと新入職員を迎え、スタートしました！！

早速、4月にはバーベキュー、5月にはぎふ清流里山公園、チームに分かれて自由調理など楽しむことが出来ました。また、進級をし、難しくなった勉強も一生懸命頑張っています。

今年も子ども達が成長していけるよう、職員一同サポートしていきます！！



星ユニット



エネルギーいっぱいな星ユニット！

自分の目標に向かって、大人も子どもも
切磋琢磨して進んでいきます ✨

光ユニット

今年度の光ユニットは、職員も子どもも、メンバーが大きく変わり、お互いを知ることから始まりました。

得意なことにも苦手なことにも取り組み、ゴールに向かって行く1年にして行きます！



空ユニット

令和8年度は小学生1人、中学生1人の計2人でスタートしました。

新年度になり、みんなで決めたユニット目標はみんなの安心安全を守るために、暴言・暴力をしない、デションに気をつけるなどの意味を込めて「3NOT BIG」となりました。

自分の課題に向き合い、成長しあえるユニットにしていきます！



虹ユニット

- ・自分の気持ちと相手の気持ちを大切にしよう
- ・生活の中で思いやりとマナーを学ぼう
- ・人との繋がりを作って大切にしよう



新しいメンバーでスタートをしました。
3つの目標を大切に出来るユニットにしていきたいと考えています！！



大地ユニット

一時保護専用棟では、昨年度1年間と今年4月で、一時保護児童、ショートステイ含めて34名の利用がありました。桜学館への入所に繋がった子、地域に戻っていった子、それぞれにドラマがあり、ユニット職員全員、感慨深いものが溢れてきます。

今年度、ユニット職員が多く入れ替わったので、職員個々の良さを発揮しながら、連携を大切にしたいと思えます。よろしくお願いします。



出会いと別れの多い大地ユニット。
こういうサプライズが多いのも
このユニットの良さです。

レク委員会

12月～4月の行事

クリスマス会では有志で子ども実行委員を募り、小学生は飾り付け作り、中学生はレクの運営を担いました！

城南高校さん、マジックショーのしょうまさんにご協力を頂きました！

大人も子どももとても楽しい時間を過ごしました！



桜学館分級のあゆみ

分級桜の会～小中交流会～

4月30日（木）の3・4時間目に『分級桜の会』～小中交流会～を行いました。今年度、小・中合同で行う行事には、今回の「小中交流会」の他にも「スポーツフェスティバル」「文化祭」などがあります。それぞれの行事が、目的を全員で共有して将来へつながる価値観を学ばせるよう努めたいです。『分級桜の会』という共通の行事名のもと「スポーツフェスティバル（5月）」「文化祭（11月）」などを行います。

「小中交流会」では前半は、学級ごとに学級目標や1年間大切にしたいことなどの発表と、委員会ごとに前期の目標を発表し、後半は、縦割りで組んだチームで力を合わせてレクリエーションを行いました。

小学生

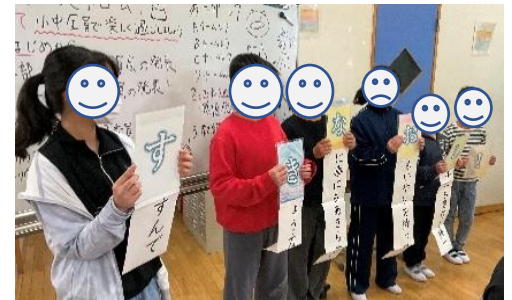
各学級が学級目標について発表しました。レインボー1組（小3）は、「1年後になりたい自分」を想像し、みんなの前で願いを語りました。学級目標『がんばるクラス』とし、「な…仲良くする、べ…勉強する、し…指示を聞く、け…けじめをつける、だ…誰にでも同じ態度で接する」という合言葉「ナビゲダー！」のもと、3人で心をひとつにして過ごしていきます。

レインボー2組（小4・5・6）は、学級目標を『すきなおし!』としました。「す…進んで、き…協力して、な…何事にもあきらめず、お…思いやりをもって、し…仕事に責任をもつ」という願いが込められています。この合言葉をもとに、6人で支え合いながら成長していきます。

自分たちが決めた目標の達成に向かって、一人ひとりが学習や様々な活動に取り組んでいくことを確かめる会となりました。



レインボー1組の発表の様子

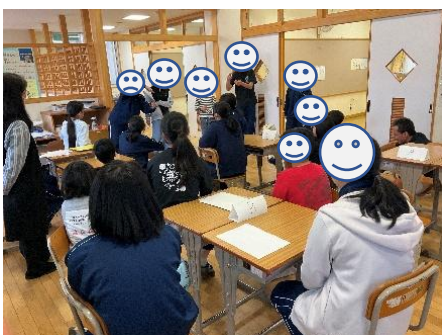


レインボー2組の発表の様子

中学生



中学3年生の発表の様子



レクリエーションの様子

各学級が学級目標について、これからの1年で頑張っていくことを発表しました。1年生の学級目標「Challenge～笑顔・集中・協力～」授業や行事を通して、いろんなことに挑戦していきたい。2年生「サンバ～明るく平和なクラス～」さあ踊ろう!! みんなで場所を考えての頭文字をとってサンバ。一人だけ楽しむのではなく、みんなで楽しめるようにしたい。3年生「Never give up」最高学年として見本を示すことで、分級を引っ張るとともに、個人の課題に向き合い成長していきたい。それぞれの学年の願いが込められた学級目標を宣言する会になりました。

レクリエーションでは、4つの縦割り班に分かれて、中学生を中心に小中全員が楽しめるようなレクリエーションを4つ考えました。みんなが笑顔で楽しむためにはどのようなレクリエーションをしたらよいのかということを考え、授業や休み時間に集まって準備をすることができました。当日は、中学生として年下の子どもたちに優しく声をかける姿が多く見られ、笑顔がたくさんみられた小中交流会となりました。

新人職員紹介

今年度4月より、6名の職員が加わりました。

よろしく
お願いします



番家春菜

絵やゲームなど自分の特技を生かして子ども達と関係を作り子どもの気持ちの拠り所となれるようにしていきたいです。



二村侑那

子どもと関わる時間を大切にし、一緒に生活を過ごせるようにしていきたいです。



森悠華

子どもの気持ちに寄り添い、安心できる関係を築いていけるようにしていきたいです。



松島花瑞希

子どもと前から向き合い信頼してもらえる職員になります。



渡邊亜珠

子どもに寄り添いながら安心して過ごせる環境を作っていきたいです。



松井智子

子どもの生活やこれからの成長に、看護としてかかわっていけるようがんばります。



里親支援センター-ともらす より

TOMORASU

いよいよ梅雨も間近となりました。とも、ともらすの玄関には毎月、里親さんと里子さんやともらす職員で作成した、その月の季節や行事に関連する手作り作品が飾られています。5月はこいのぼりと色とりどりの花が飾られ、来所者を迎えてくれています。みなさまはいかがお過ごしでしょうか。

さて、『里親支援センター-ともらす』は開所二年目を迎えました。子ども等に温かい愛情と正しい理解を持った中濃圏域の里親さんを増やすべく、市町村の広報誌や地域のフリーペーパーに広告を載せるなどの普及、啓発活動や登録里親さんへの研修、支援などを様々な関係機関と“ともに”おこなっています。昨年度も数世帯の新しい里親さんが生まれました。これからも何より子どもたちの安心安全を守るための里親支援を展開していきます。

同じ事務所内にある『子ども家庭支援センター-とも』と切磋琢磨しながら、地域の子ども、保護者(養育者)を“ともに”支援していきます。今後ともよろしくお願いたします。



寄付、ボランティアのお礼

R7.11~R8.5

- 三輪塗装様…お菓子 ○岩田電気(株)様…図書カード ○昭和企画様…チョコレート
 - アシストホールディングス様・GrowUP 榎様…ソースカツ丼 ○松岡僚耶様…ルンバ
 - 伊藤龍仁様…寄付金・図書カード ○平田様…チョコパイ ○日本特殊陶業様…フードポット
 - 圓通寺(寺子屋いちよう庵)様…キッチンカーでおもてなし(3回)
 - 篠原欣子財団様…学習机7台 ○FC 岐阜様…ユニフォーム、チケット
 - 餃子の王将様…餃子弁当(2回)
 - 大垣共立銀行様…ドラゴンズ戦チケット4試合分
- ※一部抜粋 ご寄付ありがとうございました。

ありがとう
ございました




編集後記



令和8年度が始まり、施設長筆頭に桜学館の職員体制が大きく変わりました。子どもの変化や成長を見守りつつ、職員それぞれが変化・挑戦する年なのだろうなあ。と感じています。

そんな中で、例年通り春になると、子どもの中でトカゲハンターが昨年度とメンバーをかえて出現したり、昨年度と変わらず、サッカーボールを追いかけていたりする子と、年度は変わって変化・挑戦する年と言っても、今までと変わらないものもあるんだなあ。としみじみ感じる部分もあります。変わることで、変わらないことのコントラストを楽しみ

つつ、今年度も桜学館を温かく見守っていただくと幸いです。また、昨年度より始動した桜学館のインスタグラムのアカウント(@sakuragakkan_0601)が正式に SNS 委員会を立ち上げて本格活動しました。今まで以上に桜学館の日常や職員の採用試験・施設見学等の情報をどんどん公開していきます。みなさまの心の中の片隅に桜学館が残るようにがんばりたいと思います。是非、フォローしていただき、各投稿にいいね  ください。



@SAKURAGAKKAN_0601

広報紙「さくらさくら」へのご意見、ご感想をお寄せください。
(E-Mail: sakura@hohoemi.or.jp) 広報委員 川治・岡田